



【MSP-E 防災会 副会長より】

今から7,8年前新聞等で近い将来「南海トラフ」による大地震・大津波が発生する恐れがあるとの報道があり、海に近い当マンションも津波による被害が懸念された。そこで、これらの災害に備えるためにコミュニティ活動検討委員会の中に「防災マニュアル検討分科会」が発足したのが当マンションでの防災・減災活動のスタートになった。その後多くの住民の活動の結果、今年の通常総会で「イースト防災会」の結成が承認されたことに対し大変感慨深いものがある。これからも全住民で**防災・減災**に取り組みましょう。

(吉田 忠雄)

【各班長より インフラ管理班】

2016～17年度に建築設備担当理事、2016年度から長期修繕検討委員として第1回大規模修繕工事の推進等に携わりました。防災会活動での抱負ですが、土砂災害・洪水、地震・津波等の防災対象の中で、当マンションでは地震のリスクが大きいと考えています。大規模地震発生時に建物・設備で想定される被害に対して、

- ① 発生時の被害を抑える事前対策推進
- ② 発生時の被害状況の確認と適切な措置
- ③ 発生後の被害設備の早期復旧等

をしっかりと行えるしくみ・体制づくりに努める所存です。

(砂田 幸一)

【情報班メンバーより】

防災委員会が長期修繕委員会分科会の時より携わっています。防災士は防災に携わるうえで必要と思い兵庫県の講座を受けました。人と防災未来センターのボランティア活動に参加しています、防災に関する種々の情報が入るようになりました。

神戸学院大学の防災イベント、神戸大学の防災講座、震災対策技術展等々への参加、なぎさ防災福祉コミュニティ委員長として各行事の参加、防災訓練の企画をしています。渚中学校、兵庫県立大学の協力得て、地域防災、MSP-Eの防災活動が少しでも進めばと考えています。

(城田 洋克)

【各班長より 物資機材管理班】

5番館703号室の古木(フルキ) 美代之(ミヨシ)と申します。先般、防災士認定講座を受講し、“自助”“共助”“公助”について改めて考える機会を得ることができました。

災害時、自分自身、家族を安全に守る事は当然ですが、要支援者の方が多々いらっしゃいます。微力ながら、今後、その方々に、何ができるのかを念頭に活動して行きたいと思っています。防災会の担当は、“物資機材管理班”をおおせつかりました。宜しくお願い致します。

(古木美代之)

【MSP-E 防災会 副会長より】

2-1504 副会長の宮崎です。防災士を修得して4年、イースト・なぎさ地域・ALL HAT(人防)の防災活動に参加しています。全国各地で災害が頻発し、住人の危機意識、防災への関心も向上しています。イーストには15名の防災士が在住する危機管理に優れたマンションです。

今後も防災会の一員として、住人・要援護者の共助支援を実践して参ります。訓練・体験なしに本番では避難行動は出来ませんので、住人の皆様の防災訓練への参加をお願い致します。(宮崎 義則)

【各班長より 救護支援班】

昨年度からMSP-E管理組合の防火防犯理事を担当しており、防災会は会長並びに会員皆様方が理事会決議において苦難を乗り越え発足したことを目の当たりにし、感銘を受け入会させていただきました。

思い返せば二十五年前の阪神淡路大震災では、まだ高校三年生だった私は、灘区の実家で被災しました。その当時、野球に打ち込み体力に自信があったこともあり、救助に奮闘したことを思い出します。災害発生時には、その経験が活かされたらと思っておりますので、よろしく願いいたします。(太田 昌平)

【自然災害と私たち その2】

2 南海トラフ巨大地震発生した場合の被害想定 [兵庫県被害想定(14年6月)から抜粋]

地震発生	広範囲に最大震度6強の強い揺れが3分程度続く EV停止、火災発生も
発災直後	埋立地など砂質の地盤で液状化発生 停電、ガス供給停止、断水、下水道支障
津波到来	神戸市は80分後から約4mの津波 堆積したガレキや可燃物に引火・火災
1日目	多数の住民が避難所に押し寄せる 営業不能な小売店続出、在庫切れ
2日目	救出・救助活動本格化、応援は困難 避難所の食料品・飲料水が不足 停電解消も、断水・下水道支障継続
1週間後	断水が一部で続く、下水道支障も 電力復旧、交通網・物流回復 企業活動も本格化
1ヶ月後	断水一部継続、ライフライン概ね回復

地震発生の予測については、現在では、困難とされています(17/08/25 中央防災会議)。

ただし、東海地震に限っては、プレスリップの検知により、予知が可能とされ研究も進んでいますが、南海トラフに関しては、深海での観測機器の設置も整備されておらず、これからの課題です。

なお、大きな揺れが1分以上続くようなら、南海トラフ地震を疑えとされています。

被害想定は、兵庫県全般を対象としたものです。

(澤田悠紀夫)

新年快乐

急な寒波で外に出たくない時に、備蓄食料が役に立ちました。備蓄食料にちょっとしたアレンジを加えることで、美味しく食することができます。コロナ禍で自宅での食事機会が増えているので、失敗しながらも色々試しています。(事務長：浅井)

<https://www.facebook.com/MSPEBOSAI>

コロナ禍において、SNSの活用を有効に活用することが、感染対策に必要だと思います。防災会では、Youtubeチャンネルで防災関連の動画配信を開始します。

 LINE公式アカウント



 YouTube

